



# 川崎市立 東管小学校

学校報告会

令和6年1月25日(木)

最近のできごと

ふれあいまつり 4年ぶりに開催！

ふれあいまつり

4年ぶりに開催！

1月20日(土)

- ・テーマ「であう ふれる つながる つなげる」
- ・これまで、20年以上前から地域の方々が先生になってワークショップを開いてくれました。

今年度【再編】して復活

- ・子どもたちの学習の発表の場
- ・地域の方々とのふれあいの場



ふれあいまつり  
4年ぶりに開催！

【子どもたちの学習の発表の場】

1年生：めざせ 昔遊び名人

2年生：町たんけん

3年生：協力してつなげよう地域の人と学習内容

4年生：東管ってやさしい町？

5年生：聞いて楽しむ落語の世界

6年生：未来へGO！

たけのこ級：立体切り絵アート（ゲストティーチャー）

※ 聞いてくれる人を意識した工夫満載

ふれあいまつり  
4年ぶりに開催！

【地域ブース】

ビックかるた・百人一首

昔遊びの世界へようこそ

南武線物語

頭脳で攻めろ！将棋・オセロ



学校・地域の  
行事などが復活

令和5年度は・・・

コロナ禍の密にならない生活から、  
以前の生活に戻ろうと、  
みんなで考えながら  
再開をめざした年でした。

日常生活も、ルールの見直し  
グループ活動・音楽・朝会集会・会話など

4年ぶりに  
全校集まって  
運動会

菅ふるさとまつり  
5年生出演

社会福祉のつどい  
4年生出演

## 学校教育目標

- ・自ら進んで学習する子  
(かしこく)
- ・思いやりがあり、協力する子  
(やさしく)
- ・元気でたくましい子  
(たくましく)



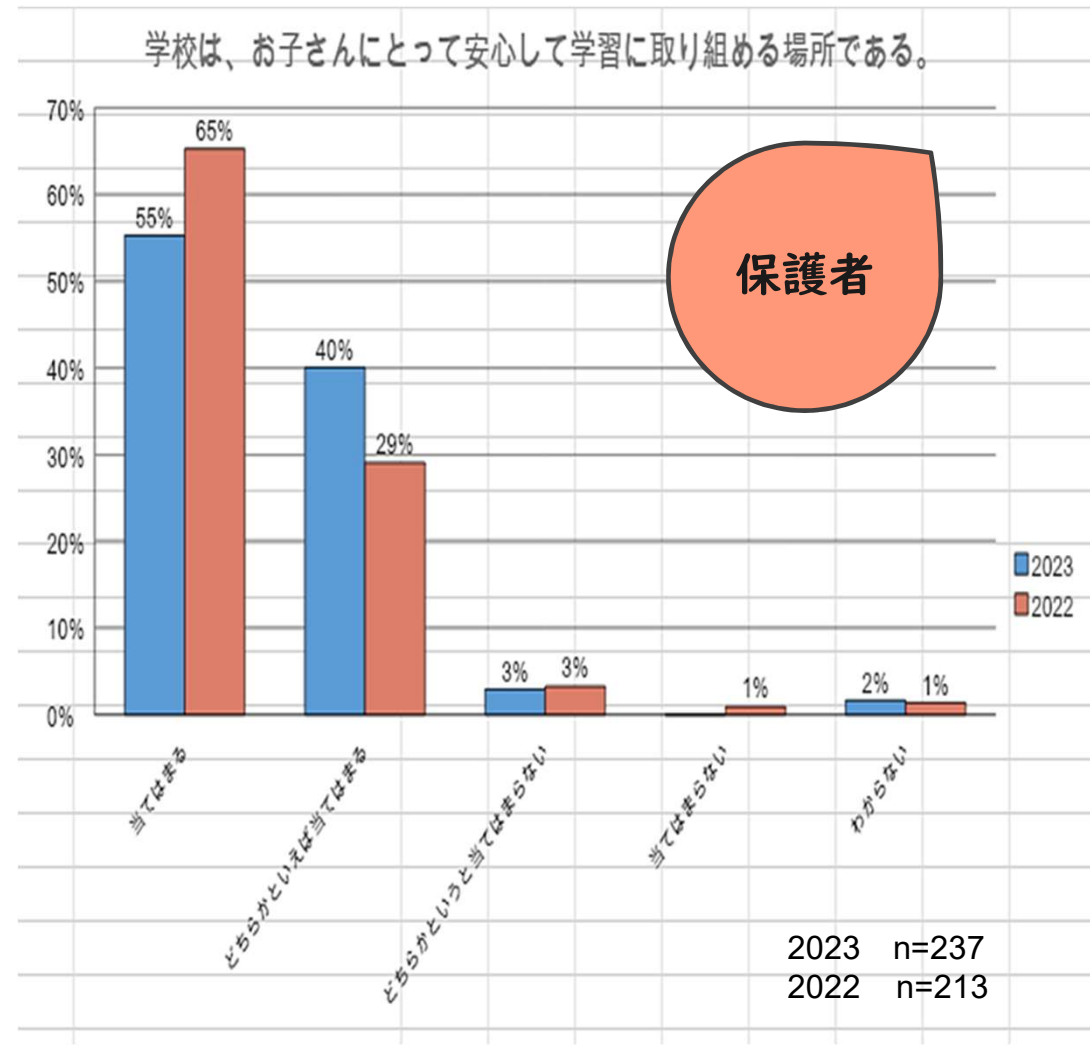
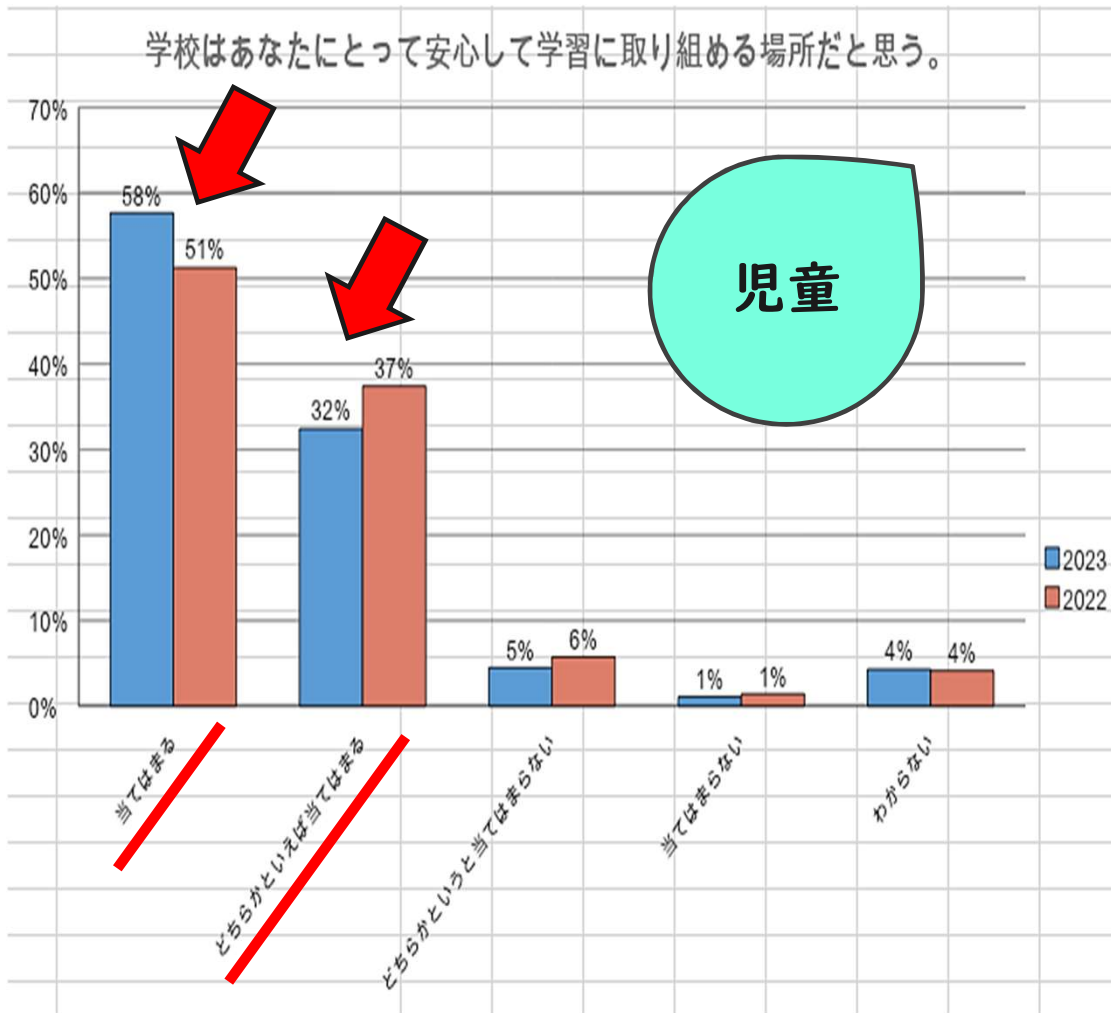
## 学校評価

# 学校評価アンケート（児童） 昨年度との比較

（「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童の割合）

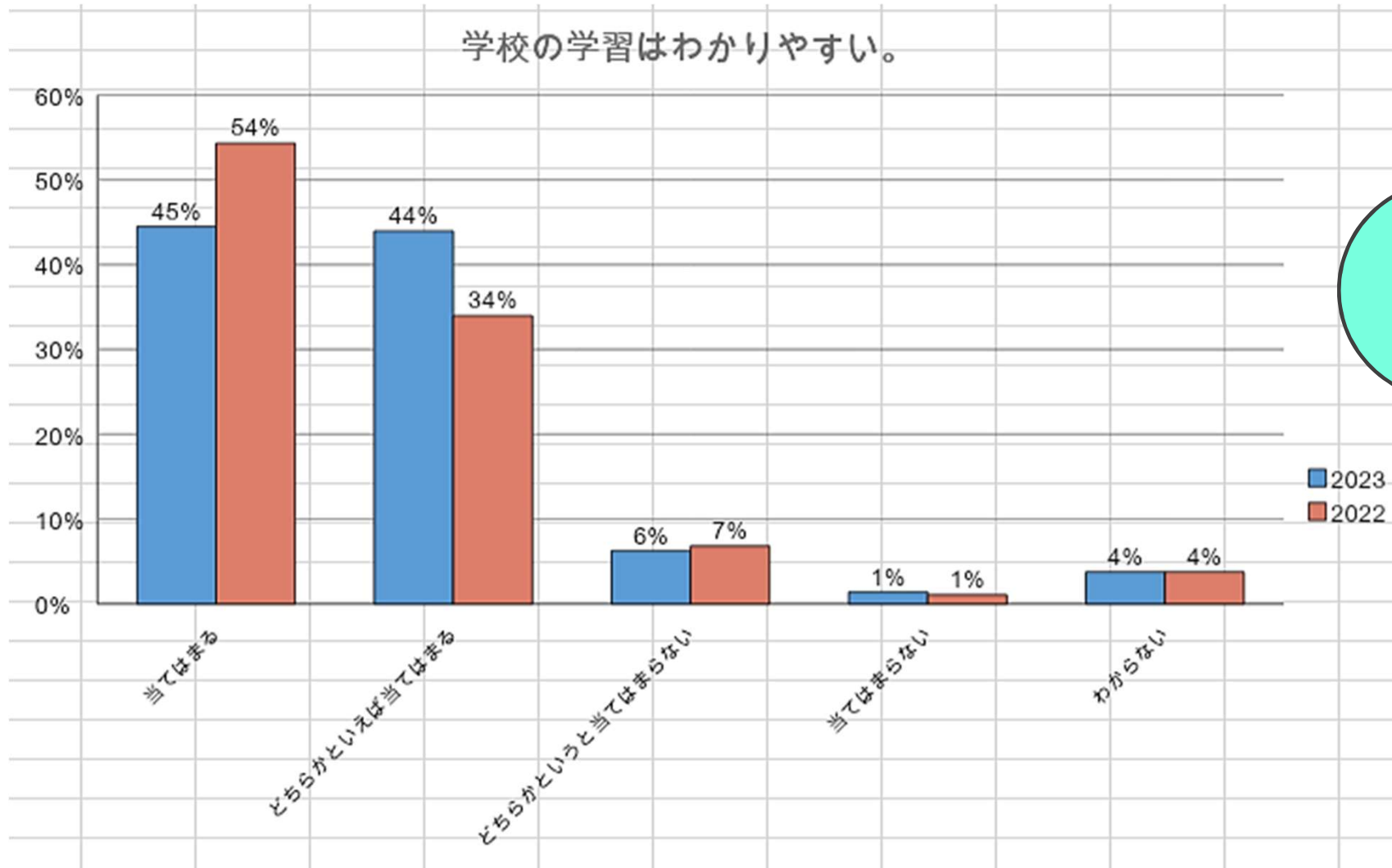
	2022年度	2023年度
①安心して学習に取り組める	89%	90%
②学校の学習がわかる	88%	89%
③考えたことを表現している	77%	76%
<u>④みんなで学ぶ良さを実感</u>	<u>87%</u>	<u>89%</u>
⑤挑戦しようとしている	89%	89%
⑥最後まで諦めない	89%	89%
<u>⑦川崎について知ろうとしている</u>	<u>75%</u>	<u>82%</u>
<u>⑧友達と気持ちよく過ごす</u>	<u>88%</u>	<u>90%</u>
<u>⑨悩みを相談できる</u>	<u>72%</u>	<u>80%</u>

# 安心して学習に取り組む



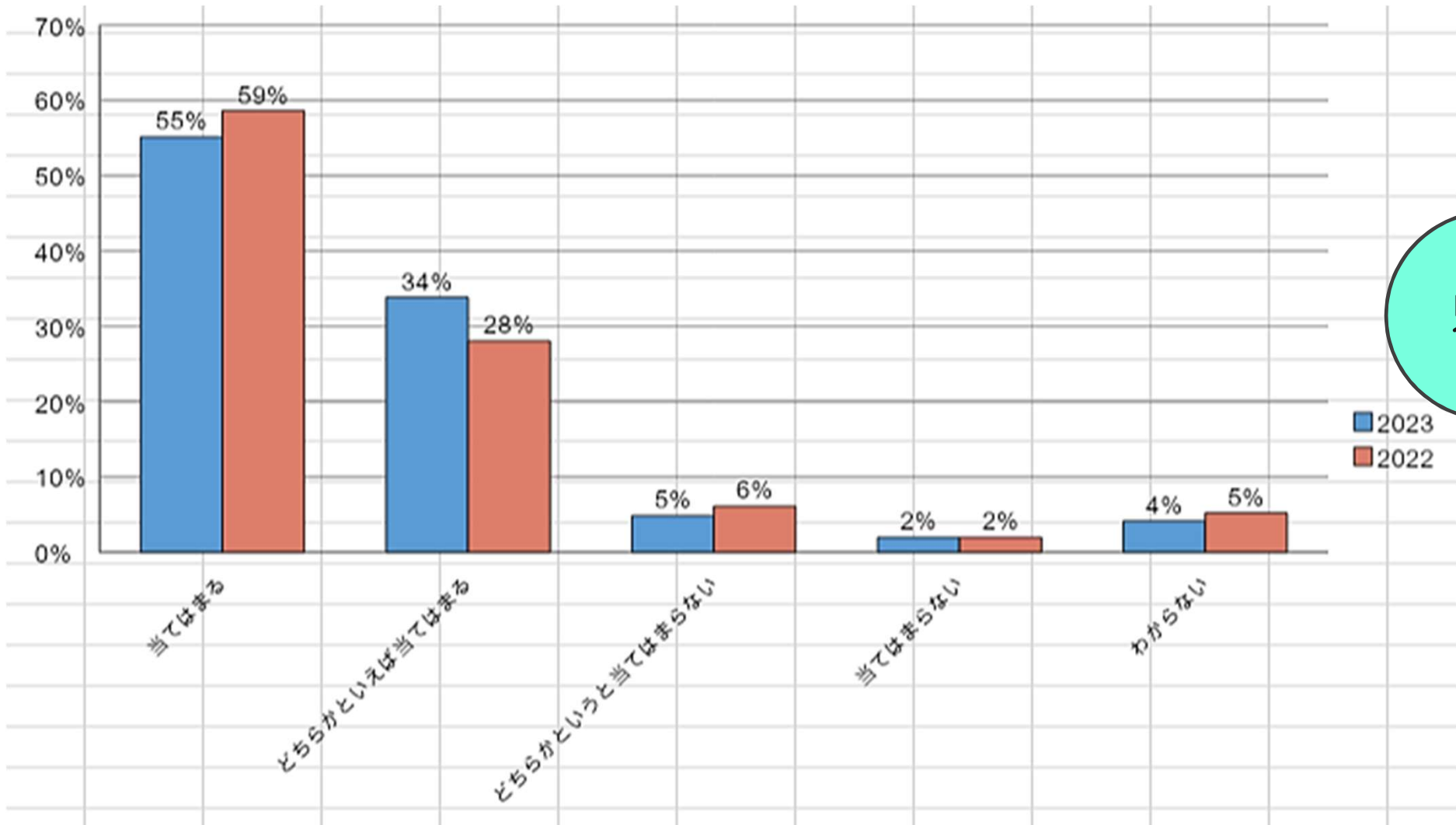
# わかる学習

学校の学習はわかりやすい。



児童

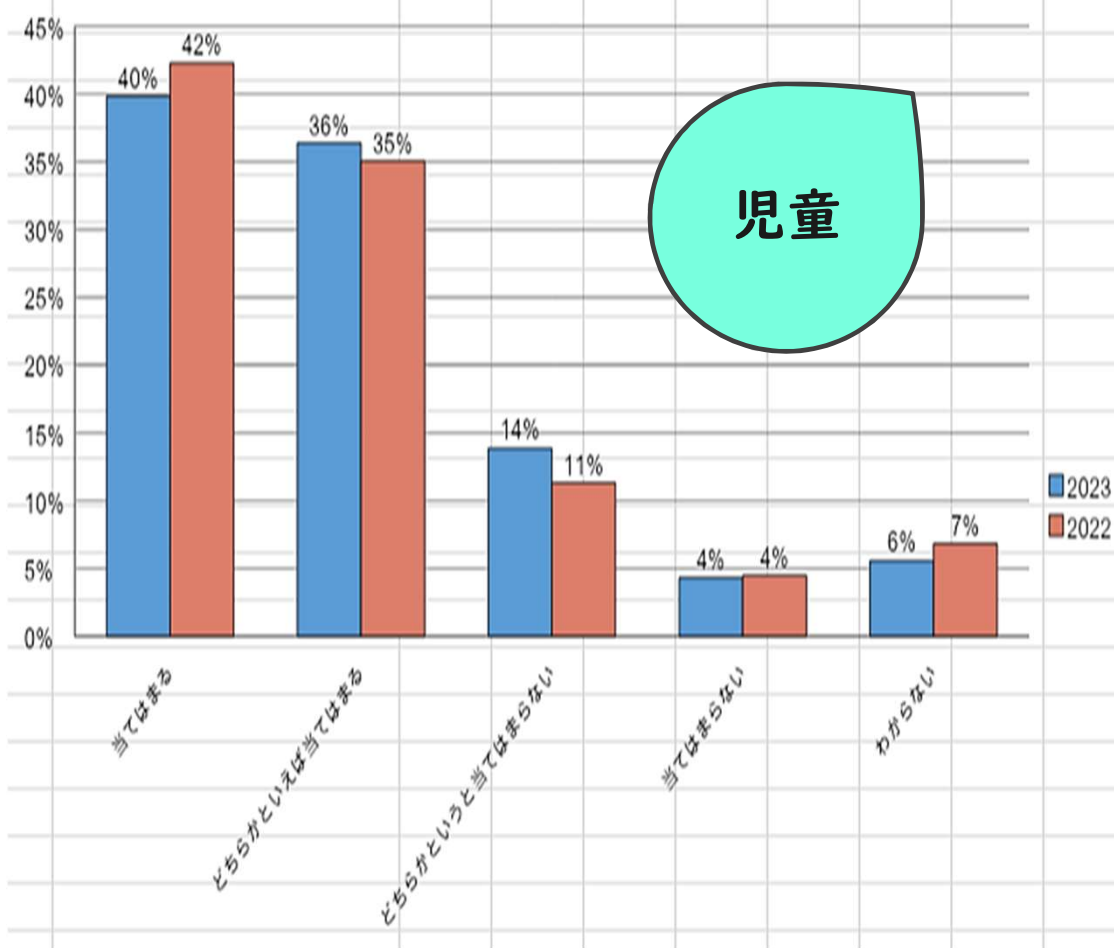
# みんなで学ぶ良さを実感



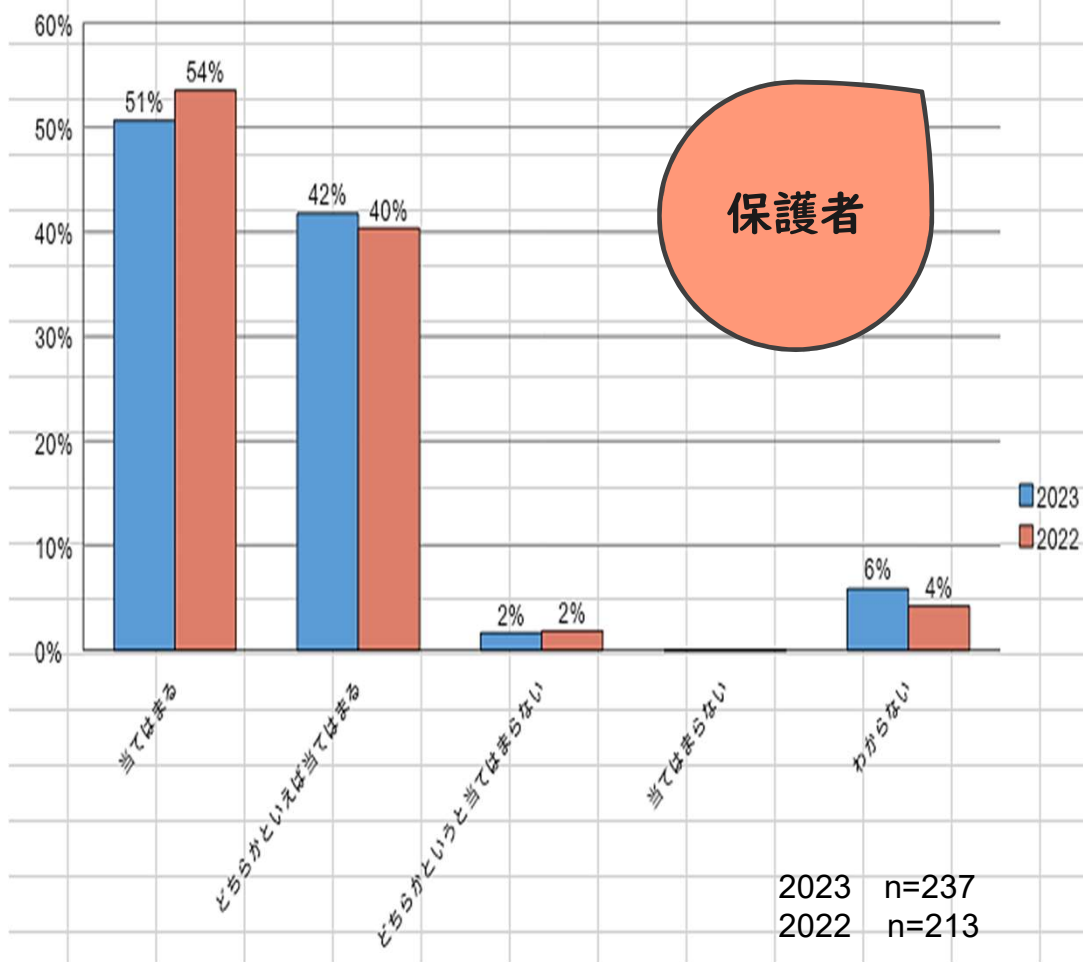
児童

# 考える力・表現する力

考えたことを表現している。

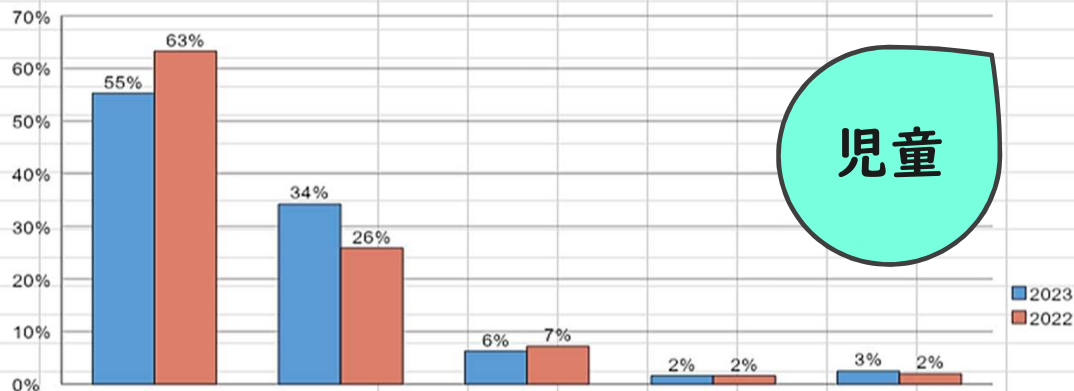


学校は、考える力や表現する力を育てようとしている。

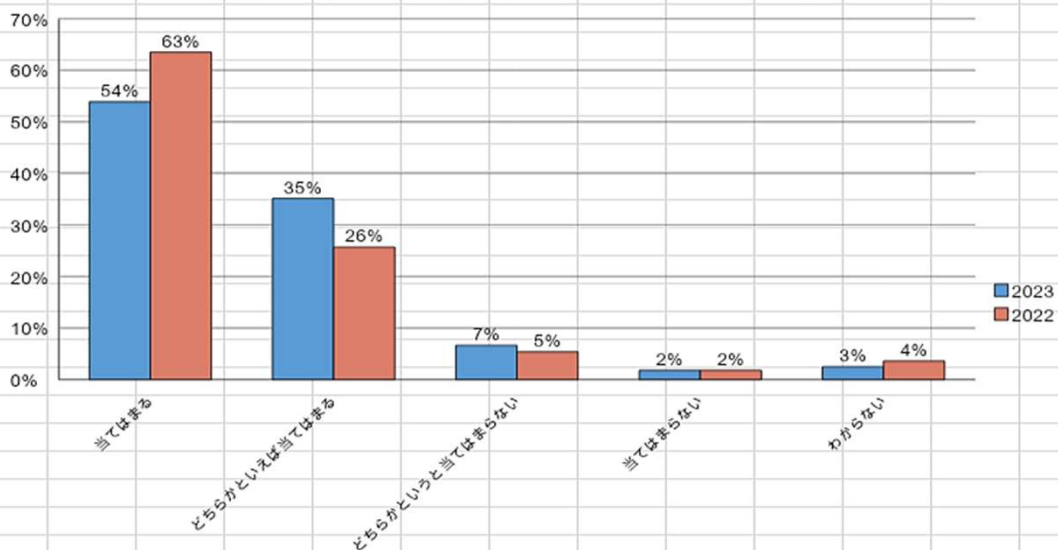


# 何事にも挑戦 最後まであきらめない

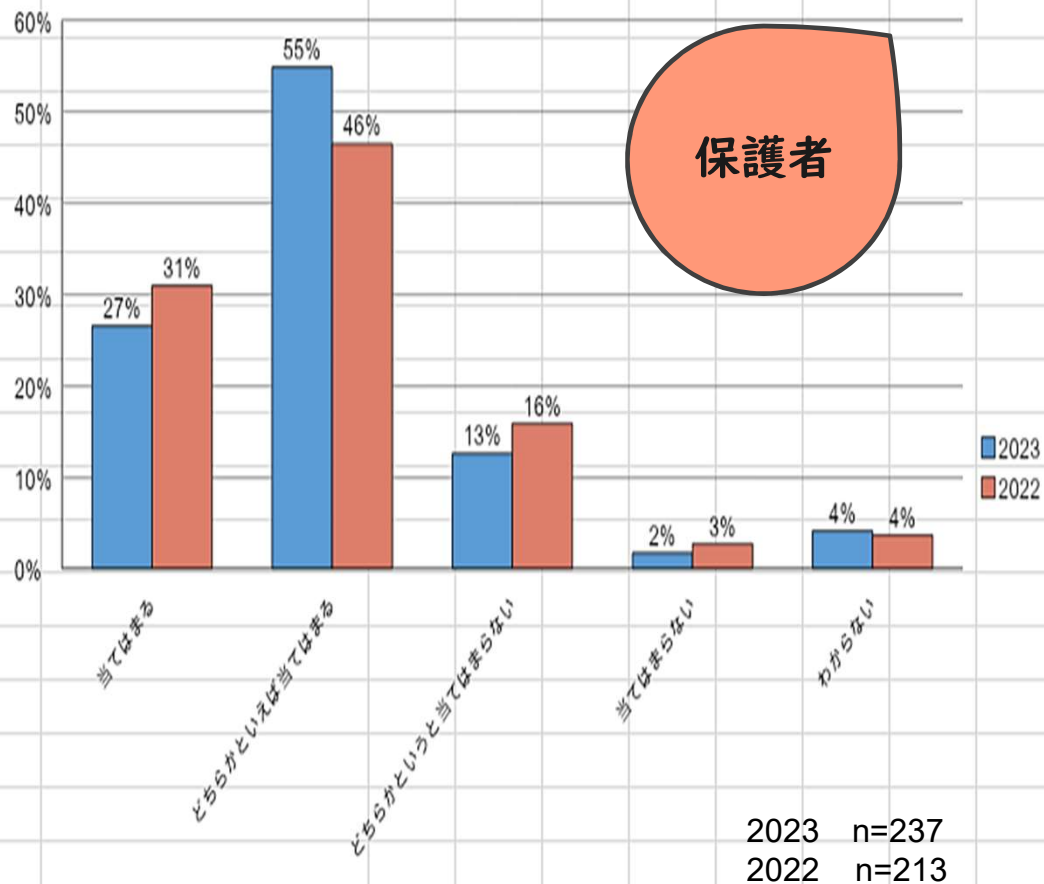
どのようなことにも、まず挑戦してみようとしている。



最後まであきらめないで、とりくもうとしている。



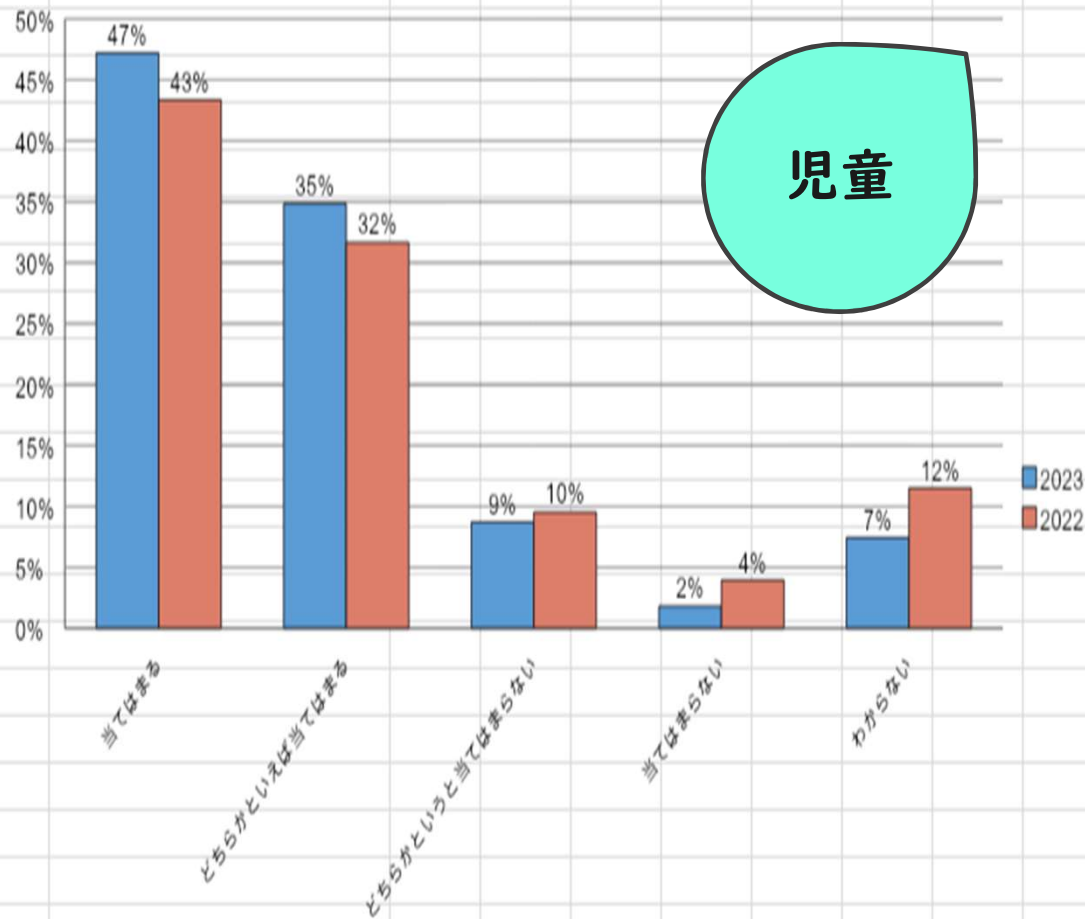
お子さんは、何事にも挑戦し、最後まであきらめずに取り組もうとしている。



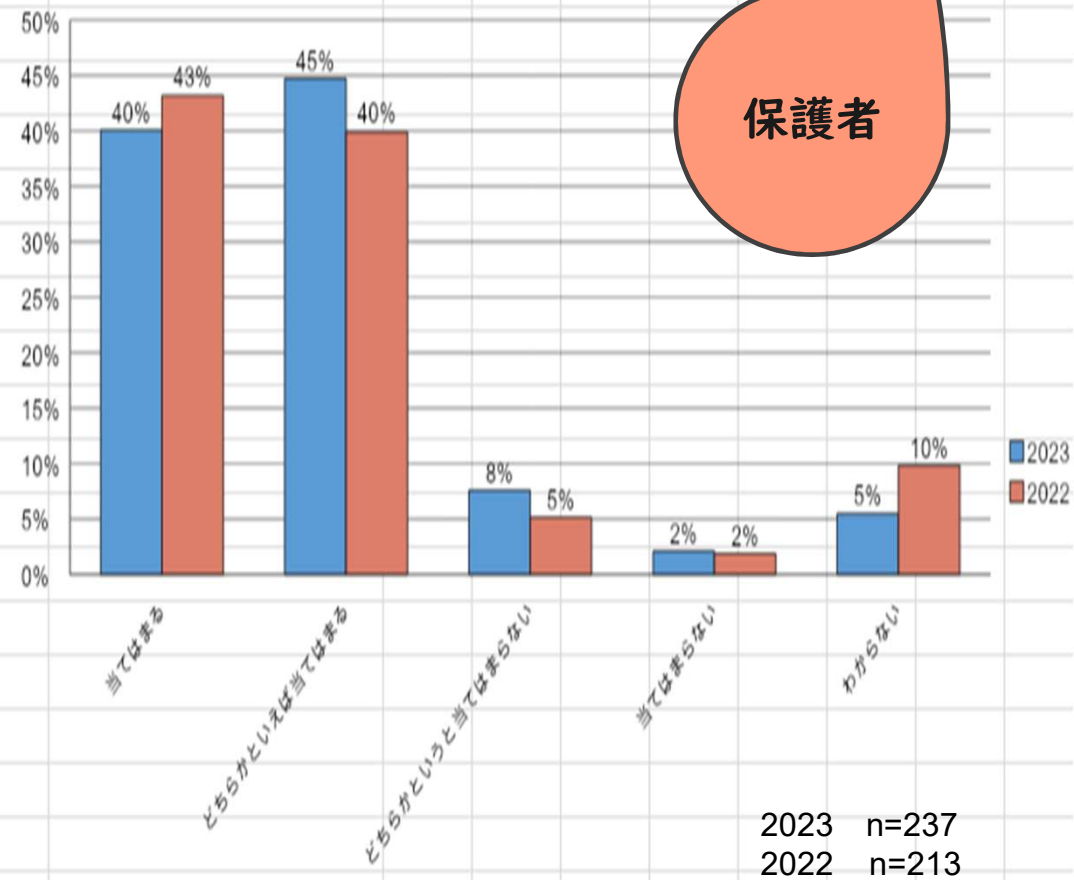
2023 n=237  
2022 n=213

# 地域を知ろう

川崎の学習をとおして、人やものや場所を知ろうとしている。

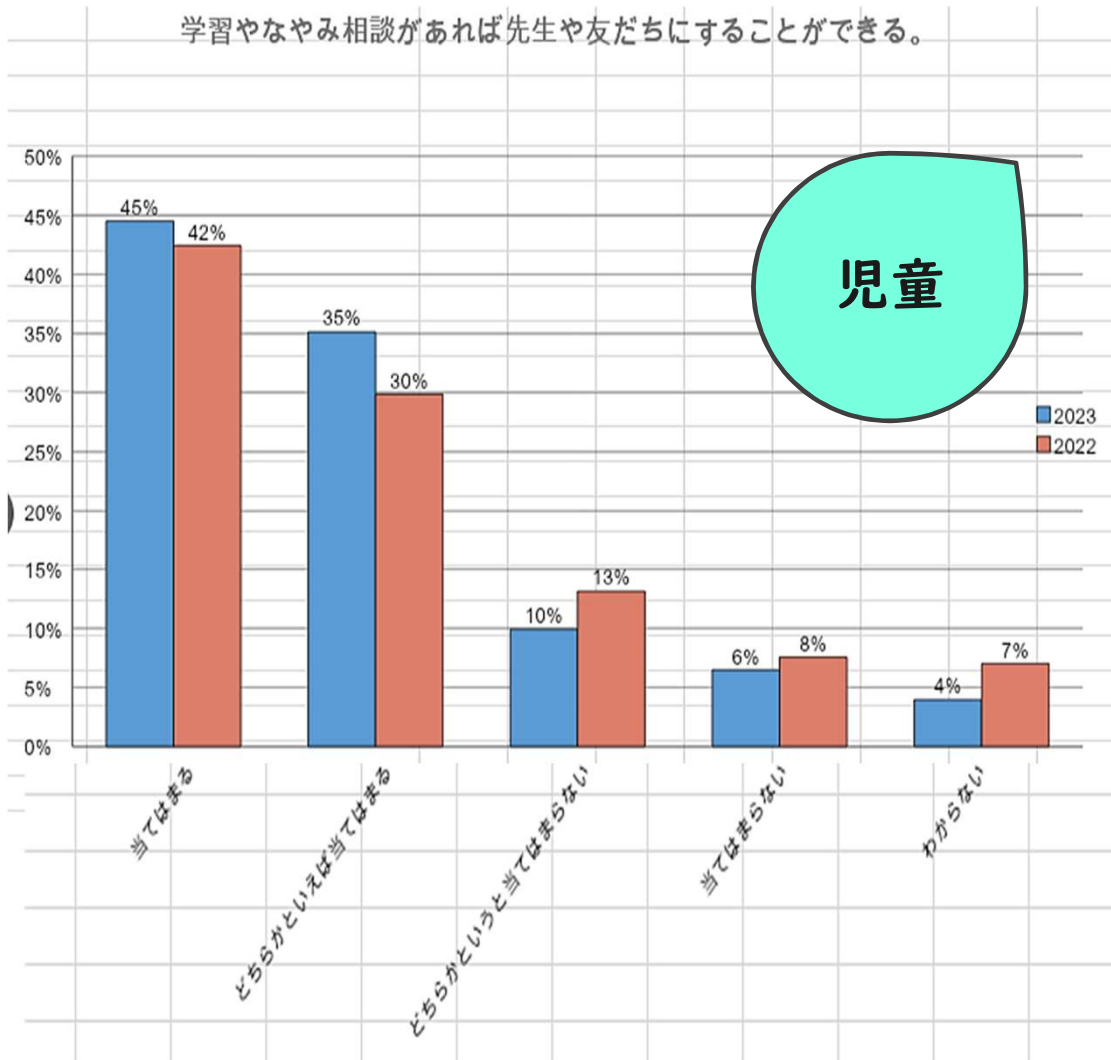


お子さんは、地域の学習を通して、川崎(まち)の人や物や場所を知ろうとしている。

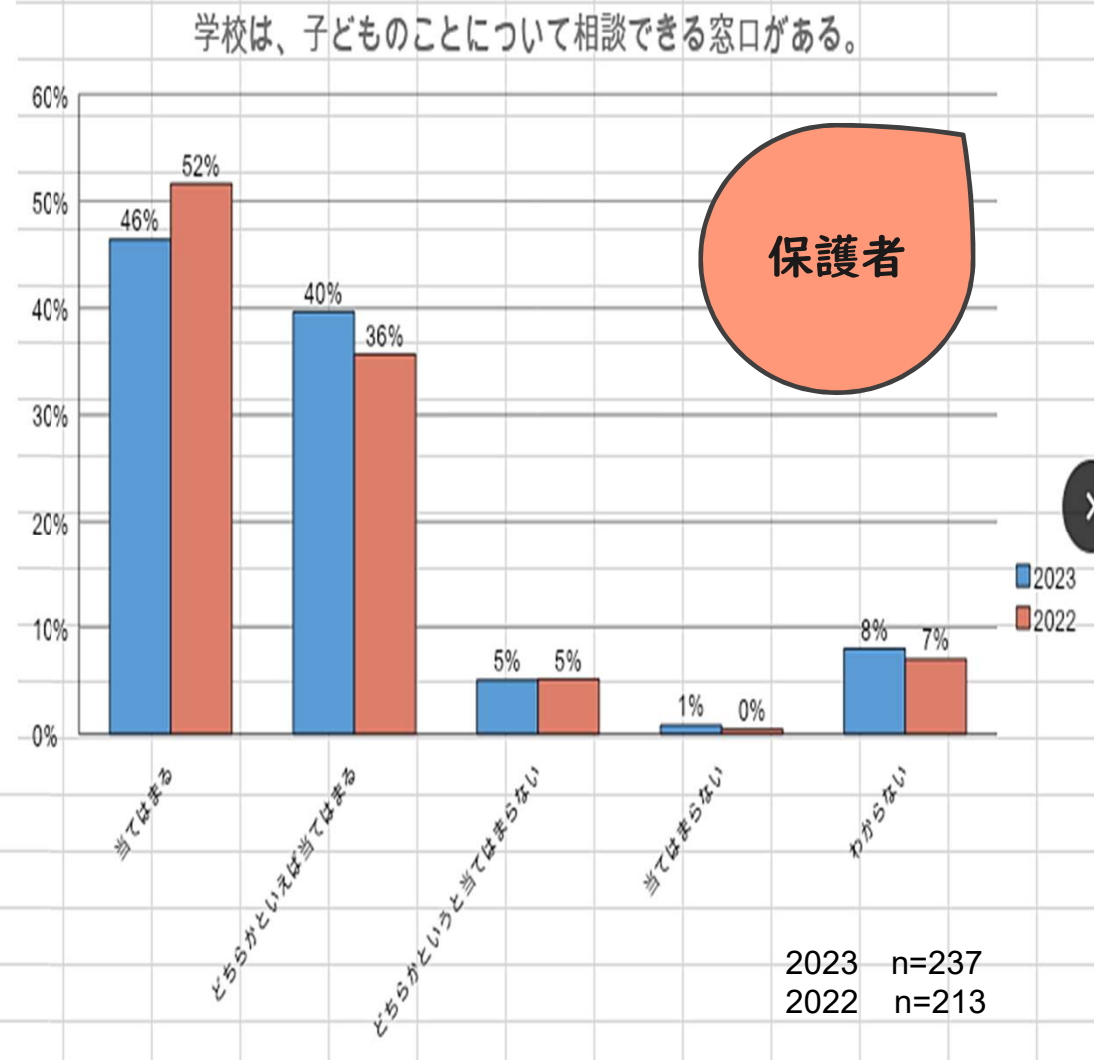


# 悩みを相談できる

学習やなやみ相談があれば先生や友だちにすることができる。




学校は、子どものことについて相談できる窓口がある。





学校で育てたい  
子どもの姿

めざす子ども像

- 自ら学び、自分を振り返る子
  - 違いを認め、人から学ぶ子
  - 前向きに考え、学校をつくる子
- 

## 自ら学び、自分を振り返る子

「なぜ学ぶのか」 「どのように学ぶのか」

- ・自分の学び方を考える、ゴールを見通して学ぶ
- ・自分の学びを振り返る活動を大事に

子ども一人ひとりが**自己決定**できるように授業を工夫

## 違いを認め、人から学ぶ子

- ・今年度の教職員の校内研究テーマ

「子ども一人ひとりが輝く授業

～他者意識をもった子をめざして～」

- ・各学年の授業研究を中心に、日常の授業でテーマにせまる手立てをとりながら学習を進める。
- ・子ども一人ひとりが学びを深める

## 前向きに考え、学校をつくる子

「自分が発言したことでみんなのもやもやがすっきりした」

「自分が発言したら、『おー』とみんなが言ってくれた」

・一人ひとりが、学級、学校、地域をつくる一員という意識を大切に

・自己有用感、人とかかわる力 → **自己肯定感**を高める

コロナ禍での経験・体験・ふれあいの不足の解消を！

めざす子ども像を  
実現するための  
重点

- 1 支援教育の充実
- 2 保護者・地域の方々との連携
- 3 川崎市キャリア在り方生き方教育の推進

# 重点Ⅰ 支援教育の充実

- ① 教室での学びができるようになるためのケース会議の開催  
→担任・学年・支援教育コーディネーター・管理職を中心に共通理解を図り、適切な支援を検討
- ② 取り出し、入り込みによる個に応じた支援の充実  
→授業での見取りや、保護者の方との面談をもとに、共通理解を図りながら推進
- ③ 15分の短時間学習を利用した教育相談  
→担任と児童との面談(全員)で、SOSが出しやすい環境づくり  
→個に応じた支援の推進

## 重点2 保護者・地域との連携

- ① 総合的な学習の時間等で地域人材を活用した  
カリキュラムの見直し  
→コロナ禍でのふれあいの不足の解消をめざす
- ② コミュニティ・スクール（学校運営協議会）で  
教育課程を推進  
→学校の教育活動へのご理解・ご支援  
（ふれあいまつりへの積極的な関わり）
- ③ 地域人材と繰り返し関わる  
→ゲストティーチャーによる教育活動へのご支援

## 重点3 川崎市キャリア在り方生き方教育の推進

(自分をつくる) (みんな一緒に生きている) (わたしたちのまち川崎)

- ① 学年・学級活動等で実行委員などの役割の充実  
→実行委員など、各学級、学年、全校行事等で活躍の場を広げる
- ② 市制100周年を意識したカリキュラムマネジメント  
→ふれあいまつりの開催、充実  
→発達段階に応じて、地域を大切にする活動を推進
- ③ 自分の学校・地域にほこりをもち、**良いところ・自慢できる**  
**ところを発信**する  
→コロナ禍で少なくなった発信の場を広げる



# 学習のツールとしてのGIGA端末 の活用の継続

未来社会の創り手  
である子どもたち  
のために

- ・ 昨年度の実践の検証と進化・発展  
かわさきGIGAスクール構想3年目  
STEP3において 「つながる」活用
- ・ 大人もデジタル化 DX化  
職員の会議、連絡  
効率化・ペーパーレス化に向けて

# 学習のツールとしてのGIGA端末 の活用の継続

未来社会の創り手  
である子どもたち  
のために

「クラウド」を活用して学習しているよさ

- ・他の子の考えが伝わりやすくなった。
- ・共感・共有・違いを見つけることが簡単
- ・情報モラルも使いながら学ぶ

デジタル化は  
こんなところにも

**現在**、ミマモルメでの欠席連絡等など、ご協力いただいていることで、学校での迅速な共有・把握ができるようになりました。

**今後**、保護者の方々に、提出していただいている帳票などが、紙だけでなく、デジタル化されていく予定です。

# 「チーム ひがしすげ」

地域・保護者の皆さんとともに  
子どもたちが、  
自分らしく安心して活動できる  
学校をつくり続けていきましょう